チョコレート嚢胞

患者様情報

来院されるまでの症状

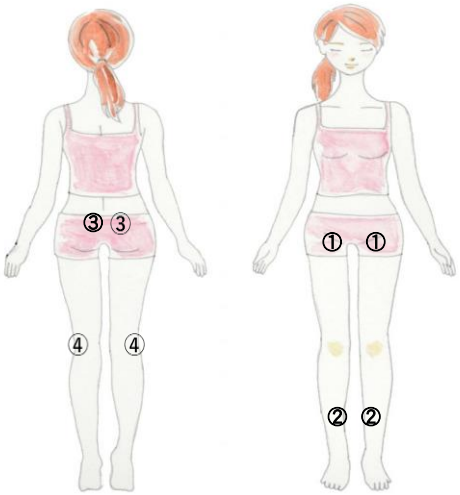
・2023年の3月に初診で来院された患者様で、鍼灸の受診経験はありませんでした。
・今まで生理痛がなかったのですが、3年前に突然生理痛が起こったので病院を受診した際に
チョコレート嚢胞と子宮筋腫の診断を受けたとのことでした。
・チョコレート嚢胞はすぐに手術をしたのですが、現在再発気味であるとのことで経過観察を行っているそうです。
・チョコレート嚢胞の治療としてピルを服用しているのですが、副作用のむくみに悩まされているとのことでした。

患　者　様	40　代　　**女性**
初　　診	2023　年　3 月
既　往　症	子宮筋腫、アレルギー、慢性鼻炎
他 の 症 状	薬の副作用によるむくみ

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

・生理痛が重いのが1番辛いとの事でしたので、生理痛を緩和する治療から始めました。
・今回のケースの生理痛はチョコレート嚢胞や冷えによる子宮内の血流が悪くなることにより引き起こされたと診立てました。
・子宮内の血流を良くするために「三陰交」と「八髎」にお灸を行い、ムノ部（鼠径部）に1～3㎜ほど鍼を刺入させて、硬いしこりを緩めました。
・むくみが気になるとのことでしたので「委陽」にお灸を行いました。



使用した主要なツボ

①急脈（キュウミャク）　②三陰交（サンインコウ）
③八髎（ハチリョウ）④委陽　（イヨウ）

■ 初診後の経過

・治療後は身体がとても軽くなったとの感想を頂きました。
・2～3週間に1回の治療を3ヶ月ほど継続していたところ、検診に行った際に嚢胞が小さくなり、卵巣内に溜まっていた水も抜けていたとの報告を受けました。
・現在も同じペースで治療を継続しております。

■ ひとこと添えさせていただきます

チョコレート嚢胞は基本的には良性腫瘍とされていますが、まずは病院での受診をオススメしています。
今回のように身体全体のバランスを整え、婦人科疾患に関わるツボに鍼やお灸をすることにより、子宮内の血流がよくなり症状が軽減するケースがあります。
チョコレート嚢胞やひどい生理痛にお悩みの方はお気軽にご相談ください。